

25年度予算のあらまし

平成25年度の予算編成は「協働のまちづくり」と「組織・事業・財政の適正化」を基本に、総合計画と新市建設計画に搭載した事業、市民の皆さんとの協働による事業、直面している課題に対応する事業に重点化し、併せて行財政改革および財政健全化に取り組みよう配分しました。ここでは、市の基本的な業務を行うための予算である「一般会計」を中心に、そのあらましをお知らせします。

【岡本庁財政課財政係（内線323・324）】

一般会計予算総額は554億1380万円

奥州市の25年度一般会計予算の総額は、554億1380万円です（下表参照）。24年度予算と比較すると、84億6290万円、13・2%の大幅な減となりました。これは、24年度の当初予算に土地開発公社の債務解消のための関係経費92億円が含まれていたためです。この92億円を除いて比較すると、7億3710万円、1・3%の増となります。

【歳入】

市税については、固定資産税では景気低迷により設備投資の動きが鈍く、減少を見込んでいるものの、市



民税では復興需要などを背景として一部の業種に回復の動きが見られるため、1億693万円、0・9%の増を見込んでいます。

地方交付税は、国の地方財政対策を勘案し、2億8609万円、1・4%の減の見込みです。市債は、101億8460万円、61・8%の大幅な減となりました。これは24年度予算に「第三セクター等改革推進債」92億円が含まれていたためです。

【歳出】

歳出のうち、人件費・扶助費・公

債費の義務的経費は、2億6663万円、1・1%の増となりました。これは、人件費が給与の独自削減などにより減となったものの、社会保障関係費の自然増などにより扶助費が増えたことと、公債費が24年度に借入した「第三セクター等改革推進債」の償還の影響で増加に転じたことによるものです。

補助費等は、86億6256万円、50・3%の大幅な減となりました。これは、24年度予算には「土地開発公社債務保証金」92億円が含まれていたためです。これを除くと畜産分

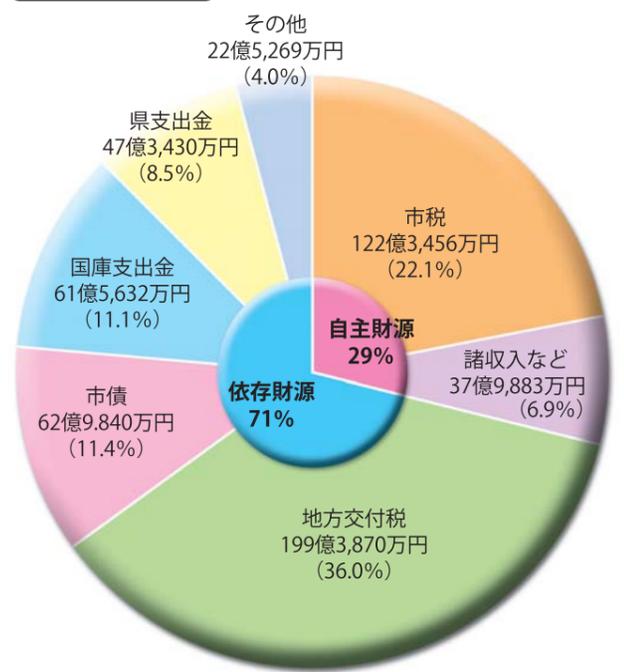
野の放射能対策関係の補助金の増などにより、5億3745万円、6・7%の増となります。

物件費も畜産分野の放射能対策や緊急雇用対策の委託料の増額などにより、2億3259万円、3・2%の増となりました。

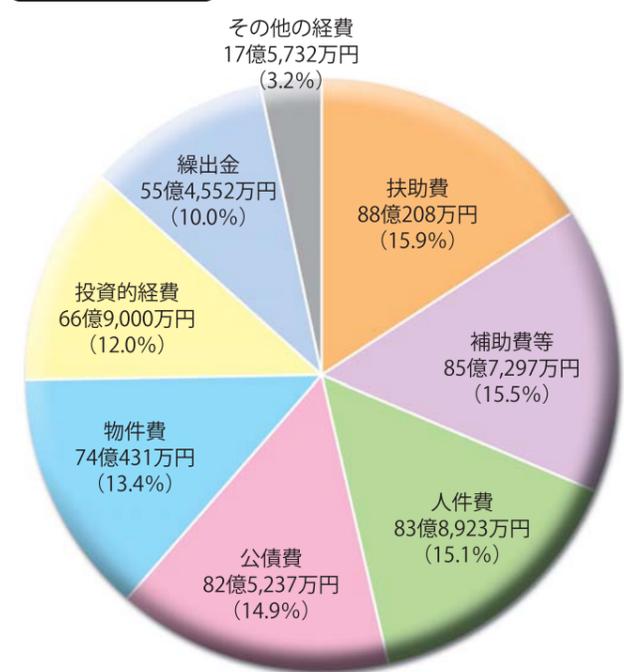
投資的経費は、3億5325万円、5・0%の減となりました。総合計画および新市建設計画事業の主要事業に重点的に配分したためです。※25年度予算の詳しい内訳は、市ホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください

一般会計の歳入

※（ ）内の数字は構成比



一般会計の歳出



奥州市の家計簿

市の当初予算を、年収400万円の家計に置き換えてみましょう。収入面では、親からの援助に頼っている状態です。支出面では、医療費やローンの返済など節約できないものが多く、子どもが自立するまでは仕送りも続けなければなりません。なかなか預金する余裕がありません。



◇収入 (400万円)

給与(市税)	88.3万円
パート収入(使用料・手数料、分担金・負担金)	7.6万円
親からの援助(地方交付税や国庫支出金など)	238.8万円
預貯金の取り崩し(繰入金)	4.4万円
新規ローン(市債)	45.5万円
繰越金	1.4万円
その他の収入(財産収入など)	14.0万円

◇支出 (400万円)

食費(人件費)	60.6万円
医療費(扶助費)	63.5万円
ローンの返済(公債費)	59.6万円
光熱水費や生活用品(物件費)	53.4万円
住宅の増改築や修繕費(普通建設事業費など)	49.6万円
保険料や町内会費、交際費など(補助費等)	61.9万円
預貯金(積立金)	4.1万円
子どもへの仕送りや友人への援助(繰出金、貸付金)	47.0万円
予備費	0.3万円

【補足】 家計簿の金額は、歳入と歳出の「その他」に含まれる金額を内容に応じて各項目に振り分けています。このため、11ページの円グラフとは数値が若干異なります

【用語解説】

- ◇一般会計…福祉、教育、消防など広く住民に使われる会計
- ◇自主財源…地方自治体が自らの権限で収入できるお金(税、使用料など)
- ◇依存財源…国や県から入るお金(地方交付税、国庫支出金など)
- ◇扶助費…社会保障の一環として、生活困窮者、高齢者、子ども、障がい者などを支援するお金
- ◇公債費…公共施設の整備や財源不足を補うために長期に借り入れるお金
- ◇補助費等…市民や各種団体への補助金